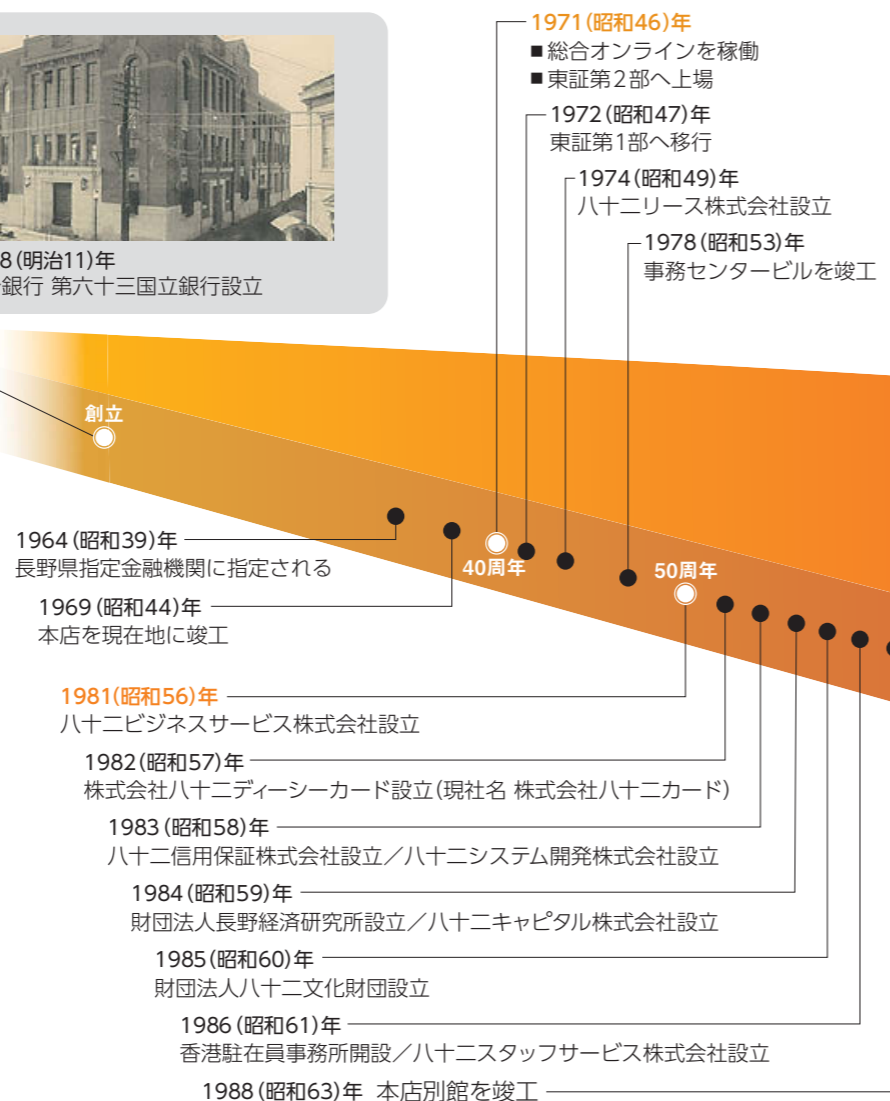


# 90年の軌跡 これまでも、これからも、ずっと。

2021年8月、八十二銀行はおかげさまで創立90周年を迎える運びとなりました。  
これからもお客さま、地域の皆様から信頼され、お役に立つ銀行として地域社会の持続的な発展に貢献してまいります。

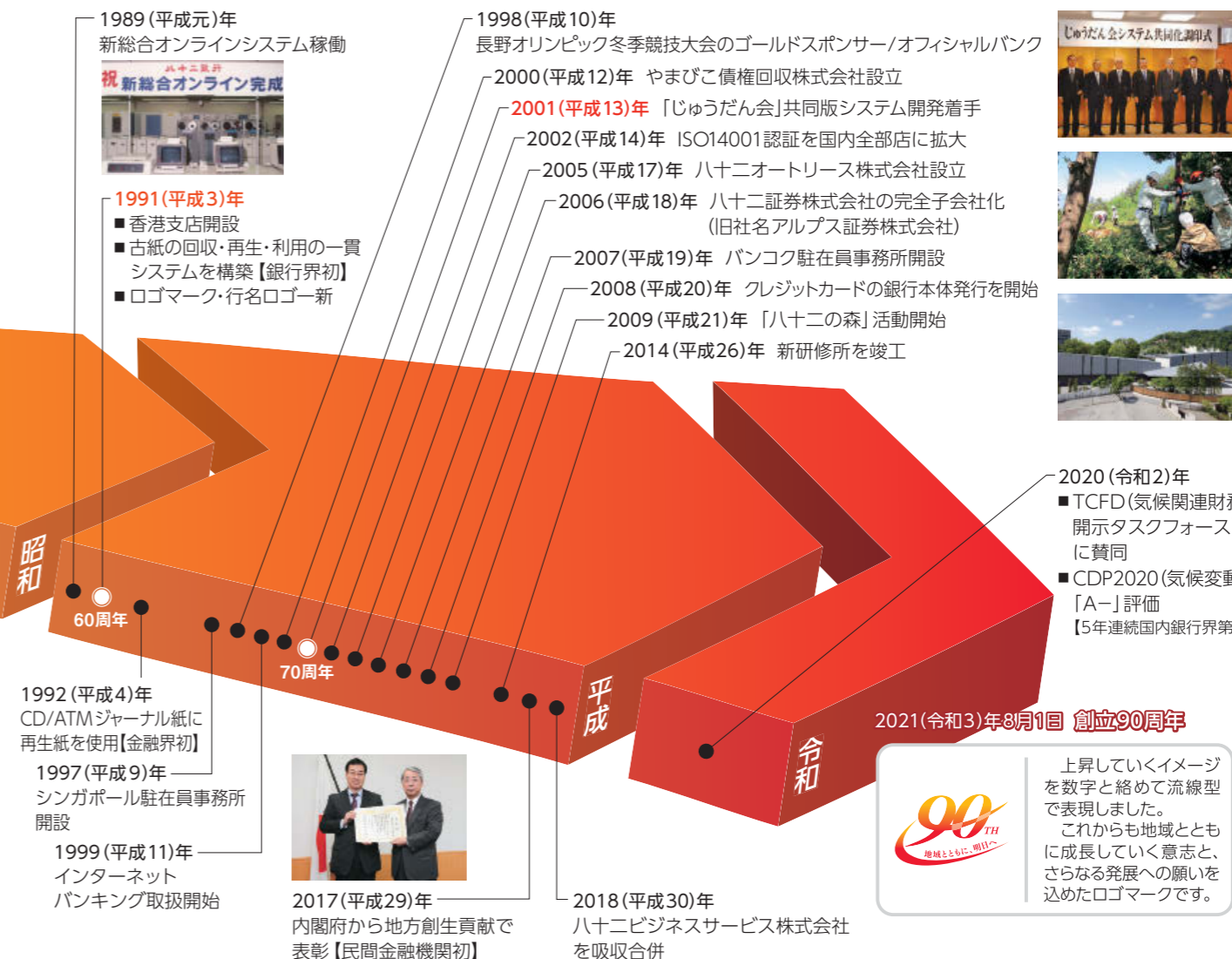


1931(昭和6)年8月1日  
第十九銀行と六十三銀行が合併し、  
八十二銀行として設立



**■ Topic 1 行名の由来** 第十九銀行 + 六十三銀行 = 八十二銀行 = はちに

昭和初頭の世界的な不況の影響を受け長野県経済も逼迫するなか、経済の血流である金融機能を維持するため1931(昭和6)年8月1日、第十九銀行(本店：上田市)と六十三銀行(本店：長野市)の合併により、八十二銀行は発足しました。  
新銀行は「信濃」などの地名を冠した名称も検討されましたが、最終的に「19」と「63」の2つの数字を足し合わせた「82」に決定しました。90年の歴史を重ね、今日では皆様に「はちに」の愛称で親しまれる銀行名となりました。



上昇していくイメージを数字と絡めて流線型で表現しました。これからも地域とともに成長していく意志と、さらなる発展への願いを込めたロゴマークです。

**■ Topic 2 ロゴマーク** ◆ **「HIACT-Square (ハイアクト-スクエア)」**

八十二銀行のロゴマークは、創立60周年の1991(平成3)年8月1日から、バッジ・看板・通帳・カードなどに使用しています。「82」が4つのスクエア(正方形)としてシンボル化されたマークは「HIACT(ハイアクト)」と名づけられました。

正方形のほかに「正々堂々」「広場」「交差点」という意味を持つ「Square(スクエア)」には、八十二銀行が「お客さまが集う広場、お客さまと出会う交差点」でありたいという願いが込められています。また、使用されている「赤」は、デザインに込められた安定・躍動・モダン・伝統といったさまざまなイメージをさらに強めるという観点から選ばれました。

「82」をデザインソースの一つとし、「親しまれる銀行、行動力あふれる先進的な銀行」がデザインされたこのマークを胸に、商品・サービスや私たちの日々の行動によって、より一層光り輝かせてまいります。

Heart …… 心を込めて、燃える心  
I nnovation 先進性、革新性  
A ctive …… 積極性、行動力  
C reative …… 創造性  
T hink …… 柔軟な発想

**■ Topic 3 経営理念 「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」**

第一次世界大戦後に続いた慢性不況と世界恐慌が重なって地域が困窮していた90年前、八十二銀行は発足しました。こうした時代背景に原点をもつ八十二銀行は、「私たち自身が健全で盤石な経営基盤を持たなくては、地域社会を支え続ける使命を遂行することはできない」とする考えを基本方針として実践してきました。

この経営理念は、現本店が1969(昭和44)年の完成を控えているなかで策定した1968(昭和43)年度～1970(昭和45)年度の長期経営計画にあわせて明文化されたものです。以来、この理念を貫き今日では、邦銀トップクラスの自己資本比率を有する銀行として成長することができました。

「長野県の銀行」として、長野県の発展を支えてきた金融機関としての矜持と、これからも長野県の未来を担っていくことへの強い責任と覚悟が込められた経営理念を実践し、創立当時と重なる不透明な環境にある今、役職員一丸となって地域の皆さまとともに未来を築いてまいります。

90年の軌跡 これまでも、これからも、ずっと。